

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

|                                | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| 理念に基づく運営                       | 11  |
| 1. 理念の共有                       | 2   |
| 2. 地域との支えあい                    | 1   |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用          | 3   |
| 4. 理念を実践するための体制                | 3   |
| 5. 人材の育成と支援                    | 2   |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援              | 2   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      | 1   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      | 1   |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント       | 6   |
| 1. 一人ひとりの把握                    | 1   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2   |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              | 1   |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    | 2   |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援          | 11  |
| 1. その人らしい暮らしの支援                | 9   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり        | 2   |
| 合計                             | 30  |

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 事業所番号 | 3092000037            |
| 法人名   | 医療法人 裕紫会              |
| 事業所名  | グループホーム あがら花まる        |
| 訪問調査日 | 平成22年2月26日            |
| 評価確定日 | 平成22年3月17日            |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 認知症サポートわかやま |

#### 項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

#### 記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

|       |                                    |       |            |
|-------|------------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 3092000037                         |       |            |
| 法人名   | 医療法人 裕紫会                           |       |            |
| 事業所名  | グループホーム あがら花まる                     |       |            |
| 所在地   | 御坊市藤田藤井2118番地6<br>(電話)0738-32-8588 |       |            |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 認知症サポートわかやま              |       |            |
| 所在地   | 和歌山市四番丁52ハラダビル2F                   |       |            |
| 訪問調査日 | 平成22年2月26日                         | 評価確定日 | 平成22年3月17日 |

## 【情報提供票より】(22年2月9日事業所記入)

## (1)組織概要

|       |            |        |                            |
|-------|------------|--------|----------------------------|
| 開設年月日 | 平成18年10月1日 |        |                            |
| ユニット数 | 2 ユニット     | 利用定員数計 | 18 人                       |
| 職員数   | 17 人       | 常勤     | 15 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 15.3 人 |

## (2)建物概要

|      |        |       |
|------|--------|-------|
| 建物構造 | 木造 造り  |       |
|      | 1 階建ての | 1 階部分 |

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |              |                |          |         |
|---------------------|--------------|----------------|----------|---------|
| 家賃(平均月額)            | 42,000 円     | その他の経費(月額)     | 12,000 円 |         |
| 敷金                  | 無            |                |          |         |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有(200,000 円) | 有りの場合<br>償却の有無 | 有        |         |
| 食材料費                | 朝食           | 200 円          | 昼食       | 500 円   |
|                     | 夕食           | 500 円          | おやつ      | 昼食代金に含む |
|                     | または1日当たり 円   |                |          |         |

## (4)利用者の概要(平成22年2月9日現在)

|       |           |      |      |         |
|-------|-----------|------|------|---------|
| 利用者人数 | 18 名      | 男性   | 4 名  | 14 名    |
| 要介護1  | 2 名       | 要介護2 | 5 名  |         |
| 要介護3  | 6 名       | 要介護4 | 4 名  |         |
| 要介護5  | 1 名       | 要支援2 | 0 名  |         |
| 年齢    | 平均 83.8 歳 | 最低   | 73 歳 | 最高 97 歳 |

## (5)協力医療機関

|         |                |           |
|---------|----------------|-----------|
| 協力医療機関名 | (医)裕紫会 中紀クリニック | 吉田歯科クリニック |
|---------|----------------|-----------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

民家風平屋作りの地域密着型複合施設で、他のサービスと連携しながら見守りを中心としたケアが行われている。開設当初から行政や地域の協力が大きく、地域密着型サービスの様々な取り組みを行っている。御坊市は「21年度認知症地域支援体制構築モデル事業」に指定されて様々な事業が進められており、当施設にも実習や見学に訪れる人が多く、研修などの機会も多いことが職員のレベルアップとケアの充実に役立っている。職員は入居者の言動に「なぜ?」の視点を持ち、常に理念と行動指針に照らし合わせた根拠のある本人本意のケアを行うように努めている。

## 【重点項目への取り組み状況】

|      |   |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)  |
|      | 前回の改善課題を踏まえて、運営推進会議の開催が不定期から隔月定例化となり、制服着用についても職員との話し合いで個人の意思を尊重して着用は自由になり、また居室の表札の様付けをやめるなど、できることから具体的改善に向けて全職員で意欲的に取り組んでいる。                            |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)   |
|      | 全職員が個々に自己評価に取り組み管理者がまとめた。各自の日頃のサービスの振り返りになり、管理者は職員の現状を把握することができた。今後更に理解を深めて事業所全体の質の向上を目指し、実践に繋げようとしている。   |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)  |
|      | 複合施設全体として隔月ごとに定例開催されている。メンバーには行政の職員や地域の代表、複数家族が参加しており、各事業所からの報告や討議内容を地域密着型サービスの運営に活かしている。   |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)  |
|      | 家族との信頼関係を大切に、来訪時には気軽に話せる雰囲気配慮しながら、意見・要望や苦情を聞いている。家族の声は毎朝の申し送りやカンファレンス時に職員間で情報共有してより良いサービスの提供に取り組んでいる。   |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)  |
|      | 開設後まもなく施設全体で自治会に加入し、「家」として清掃や文化祭に参加している。隣のコミュニティセンターでの「地域サロン」に地域のボランティアと高齢者が集っており、入居者も参加して知人との一時を過ごす。近くの幼稚園や小学校との行き来も多く、施設が「きしゅう君の家」として通学児童の見守りに協力している。 |

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|--|-----|----------------------------------|
| <b>. 理念に基づく運営</b>     |    |  |  |     |                                  |
| 1. 理念と共有              |    |  |  |     |                                  |
| 1                     | 1  | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 認知症になっても、住み慣れた地域でその人らしく暮らしていける支援「あなたがあなたらしくある暮らし」を複合施設の理念に掲げ、さらにグループホームとして「気楽に楽しく笑いたい、あがらの家でくつろぎたい」という独自の理念をつくりあげている。    |     |                                  |
| 2                     | 2  | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 全職員が、自分たちで考えた行動指針と理念を常に携帯し、日々のケアで迷った時はその行動指針で振り返りを行いながら理念の実践に取り組んでいる。また、毎朝の申し送り時に読み合わせをして、共通の理解を図っている。                   |     |                                  |
| 2. 地域との支えあい           |    |  |  |     |                                  |
| 3                     | 5  | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 自治会に加入し清掃や文化祭に参加しており、隣のコミュニティーセンターでの「地域サロン」にも参加している。「あがら農園」での児童との芋掘りや学校での車椅子体験への参加、また学校側から児童の発表会へ誘われるなど、相互の交流が活発に行われている。 |     |                                  |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |  |  |     |                                  |
| 4                     | 7  | 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 各職員が自己評価を行い、項目内容の理解やサービスの振り返りに活用できており、更に意義を理解し実践に繋げていくことを今後の目標としている。前回の外部評価の後、各居室の表札や制服の見直し等、具体的改善がなされている。               |     |                                  |
| 5                     | 8  | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 複合施設全体で隔月に開催されていて、各事業所からの様々な報告とともに地域への提案や地域住民との意見交換等が活発に行われている。サービスの向上に向け、会議への入居者の参加の仕方を探っている。                           |     |                                  |

| 外部              | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                       |
|-----------------|----|---|--|-----|--|
| 6               | 9  | 市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 開設時の市の協力が大きく、『あがら花まる』も市が名付け親である。以来、市や地域包括支援センターとの行き来は頻繁で、相互に情報交換や提言を行いながら、サービスの質の向上を目指している。                              |     |  |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |   |  |     |  |
| 7               | 14 | 家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 家族の訪問時に口頭で本人の様子を報告している。季節ごとのグループホーム便りには、ホーム内での様子がよくわかるように行事の写真をたくさん掲載している。入居者個々についての報告は十分できていないところもある。                   |     | ホームでの入居者の様子を家族に知ってもらうことは家族の安心に繋がる。個々の入居者について毎月の定期的な報告が望ましく、今後の検討が望まれる。 |
| 8               | 15 | 運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 家族の訪問が多いので、普段から気軽に話せる雰囲気作りを心掛け信頼関係が出来ている。意見や要望はその都度、職員と家族で共有しながら解決策を考え、早急に対応している。今後に向けて家族会や定期的なアンケートの実施も検討している。          |     |  |
| 9               | 18 | 職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 施設内の職員の異動はあるが、自由に行き来できる施設内であり、いつでも顔が見られ入居者へのダメージは防げている。管理者は日頃より個々の職員の意見を受け止めて信頼関係を築き、ストレスの軽減や悩みの解消に配慮して、離職に至らないように努めている。 |     |  |
| 5. 人材の育成と支援     |    |   |  |     |  |
| 10              | 19 | 職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 職員は法人内の様々な委員会に所属して見識を深めている。研修委員会が作成した職員のレベル毎の研修計画に沿って毎月内部研修を行い、介護技術のレベルアップに努めている。また適切な外部研修への機会を提供し、参加を促している。             |     |  |
| 11              | 20 | 同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 管理者は毎月、地域包括ケア会議に出席して同業者との情報収集を行っている。職員もモデル事業研修に参加して、他事業所との交流も増えている。また、相互実習での成果も大きく、日々のケアを見直す機会となっている。                    |     |  |

| 外部                               | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|----------------------------------|----|---|--|-----|--|
| <b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |    |   |  |     |  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応        |    |   |  |     |  |
| 12                               | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>地域の高齢者が、地域サロン デイサービス 小規模多機能居宅介護サービス グループホームと、順次馴染みながらサービスを利用するケースが多い。また、グループホームの入居待機中に在宅で小規模多機能居宅介護サービスを利用しながら、環境に慣れてもらう取り組みもされている。</p> |     |  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援        |    |   |  |     |  |
| 13                               | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                        | <p>若い男性職員など家事の不得意な職員は入居者から家事の方法を教えて貰っており、入居者は料理や洗濯の手本を示す事で自分の役割や張り合いを感じて生活している。また日頃から培った信頼の上で、相互に思いやりを持ち支え合う関係を築いている。</p>                  |     |  |
| <b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |   |  |     |  |
| 1. 一人ひとりの把握                      |    |   |  |     |  |
| 14                               | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>  | <p>家族にもセンター方式の記入をしてもらうなど初期アセスメントを十分行い、出来るだけ本人の思い・希望を把握するように努めている。入居者の言動に、常に「なぜ？」の視点を持ちながら、気付きシートに記録し、職員間の共有も図っている。</p>                     |     |  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し   |    |   |  |     |  |
| 15                               | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>         | <p>アセスメントや日頃の会話から本人・家族の希望を明確にし、ケアマネージャーと職員が話し合い、より良く暮らすための課題や個別のニーズに添った綿密な計画作成を行っている。</p>  |     |  |
| 16                               | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>     | <p>1年間の介護計画を基に、3か月ごとのモニタリング、半年ごとの見直しが行われている。しかし、急な変化や入退院時は緊急の対応に追われ、現状に即した計画の見直しや計画作成には課題が残る。</p>  |     | <p>日頃のチームワークを発揮して緊急時の適切な対応を迅速に行うと共に早い時期に計画を見直して、現状に即した変化の最善の介護計画を作成し職員間で共有することが望まれる。</p> |

| 外部                                     | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--|----|--|---|-----|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) |    |  |   |     |                                  |
| 17                                     | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | 入居者の現状に即した適切な支援を家族と話し合いながら、継続した外泊や外出支援を行っている。複合施設の利点を活かして、デイサービスや小規模多機能居宅介護サービスとの日常的な交流・見守りがなされている。     |     |                                  |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働            |    |  |   |     |                                  |
| 18                                     | 43 | かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 入居者それぞれが地域のかかりつけ医を持ち、受診、定期健診、予防接種等は原則家族の送迎の下で行われている。事業所は医師や家族との連携を図りながら、適切な受診支援を行い、事業所への往診も依頼している。      |     |                                  |
| 19                                     | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居時に法人としての看取り指針を示し、家族の理解を得て書面にも残している。また、主治医や家族の協力を得ながら、必要な状態に応じた支援を事業所全体で行う体制作りがなされている。                 |     |                                  |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援                |    |  |   |     |                                  |
| 1. その人らしい暮らしの支援                        |    |  |   |     |                                  |
| (1) 一人ひとりの尊重                           |    |  |   |     |                                  |
| 20                                     | 50 | プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 個人を尊重するポリシーを事業所全体で共有している。日々のケアでは職員はプライバシーに配慮した声掛けを行っている。グループホーム便りへの写真の掲載には同意が確認できており、個人情報書類は適切に保管されている。 |     |                                  |
| 21                                     | 52 | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 理念および行動指針に沿って、その人らしい暮らしを大切に支援をしている。入居者が主体性を持ち自分のペースで動けるように、職員はさりげなく見守りながら本人本意の支援を行っている。                 |     |                                  |

| 外部                           | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------------|----|--|--|-----|---|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |    |  |  |     |   |
| 22                           | 54 | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | ホームで作った料理の写真から献立を選んだり、苦手な献立には別のメニューも用意するなど入居者の希望を取り入れている。買い物や調理・配膳にも加わり、入居者が職員や気の合った人とテーブルを囲んで和やかに語らいながら食事を楽しめるよう支援している。 |     |   |
| 23                           | 57 | 入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 日中の時間帯はいつでも自由に入浴でき、仲の良い入居者二人で入浴することもある。異性介助も信頼の基に無理強くない行われ、好みの入浴剤やシャンプーを常備し、入浴を嫌がる方にも話題や声かけの工夫で楽しく入浴できるように支援している。        |     |   |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |  |  |     |   |
| 24                           | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 日々の家事、風呂やトイレののれん作り、ユニット内の生け花、農園での収穫等々、それぞれ得意な場面で役割を持てるよう支援している。買い物の際には出来るだけ自分で支払って買い物を楽しめるように支援し見守っている。                  |     |   |
| 25                           | 61 | 日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 毎日食材の買物に出たり、近くの田んぼの周りを散歩したりと日常的に外出し、以前から散歩が日課の入居者にも続けられるよう支援している。散歩、花見、ドライブ等は少人数ごとに行っているが、入居者の希望に添いながら機会を増やすことも検討中である。   |     |   |
| (4)安心と安全を支える支援               |    |  |  |     |   |
| 26                           | 66 | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 身体拘束委員会による研修を通じ職員は鍵をかける弊害を理解した上で、日中には玄関は施錠せず、施設全体で見守りが行われている。  |     |   |
| 27                           | 71 | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 災害対策マニュアルを作成し、年2回、利用者を交えての定期的な避難訓練を行い、必要な備蓄も確保して備えている。日頃の地域との関わりから、災害時の具体的協力体制については今後の課題である。                             |     | 運営推進会議や地区の消防団との繋がりの中で、地域住民の一員として地域との合同訓練や防災協定作り等を提案し、具体的成果に繋がるような取り組みを期待する。 |

| 外部                        | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|---------------------------|----|--|--|-----|--|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |  |  |     |  |
| 28                        | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 食事量や水分量を個々に記録しながら適切な支援をしている。水分摂取量の少ない人は声かけや居室のポットを用意し、取りすぎる人には気をつけている。献立も偏らないよう、状態に合わせた調理法で対応している。   |     |  |
| 2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |    |  |  |     |  |
| (1)居心地のよい環境づくり            |    |  |  |     |  |
| 29                        | 81 | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 紀州材がふんだんに使われ落ち着いた雰囲気の中に入居者と活けた花々に心が和む。オープンキッチンは入居者の動きを誘う生活感がある。畳の間は段差が大きく、あまり活用されていない。片方のユニットの2つの窓は小規模施設と向き合うためカーテンで遮られ、採光は天窗のみで外の風景は臨めない。 |     | 畳の間が入居者の憩いのスペースとして活用できるように、足場を置いたりスロープを付けるなどの工夫を望む。昼間のカーテンは入居者にとって閉塞感があり、風景を描いたブラインドや布で代用したり、ソファーや家庭的な置物を配置するなど、スペースを利用して季節感・生活感のある温かい空間作りを期待する。 |
| 30                        | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 入居者本人が住みやすいように、使い慣れた机、タンス、テレビ、冷蔵庫、仏壇、鏡台などを置き、居心地の良い空間作りを支援している。布団カバーも好みで用意して貰い、暖かな雰囲気が感じられる。   |     |  |